



# 卒業おめでとう

題字：1年5組 片山 翔



第 96 号

天高育友会報  
平成31年3月1日発行  
発行 県立天草高等学校育友会  
編集 天高育友会文化広報委員会  
印刷 ワタナベデザイン

## 目標に向かって

題字：2年5組 竹地 萌

3年生の皆さん、保護者の皆さんご卒業おめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。皆さんにとって天草高校の3年間はどうか？新しい友達や先生と出会い、学業や部活動、学校行事を通じて、かけがえない経験を積まれたと思います。そして、これから人生の大きな転機となる大学進学、就職を迎える皆さんに、メジャーリーグで活躍した元プロ野球選手の松井秀喜さんが、星稜高校時代に山下監督から贈られた言葉を紹介したいと思います。

『心が変われば、態度が変わる。態度が変われば、行動が変わる。行動が変われば、習慣が変わる。習慣が変われば、人格が変わる。』



育友会会長 植田 伸広

人格が変われば、運命が変わる。運命が変われば、人生が変わる。これは、物事に対する心(意識・考え方)を変えることで、態度や行動が変わり、その行動を続けることが習慣となり、さらに習慣が人格を作り、最終的には運命も人生も変わるということです。つまり、自分の心の持ちよう、人生は変えられるということです。

皆さんは、将来の目標を定めていますか？登山家がエベレストの登頂を目指さなければ、決してエベレストには行けないように、人は目指すところ(目標)にしか行けません。逆に、目指すべきところ(目標)が決まれば、そこに行ける可能性(チャンス)が出てきます。

## よき高くよき深く

題字：1年3組 錦戸 里菜

3年生の皆さんご卒業おめでとうございます。保護者の皆様にもお祝いを申し上げますとともに、これまで本校の教育活動にご理解とご支援いただきましたことに厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、卒業生の皆さん、飛翔を習った雛鵬が胸を希望に燃やし、凶南橋を羽ばたく時が来ました。三綱領「正大」「剛健」「寛厚」のもと、教育スローガン「求学志成」を胸に過ごした3年間はいかがでしたか。情熱を傾けた部活動、小雨の中みんなで燃えた体育大会、餅つきや3年部の歌で盛り上がった文化祭、できるようになる楽しさを感じたスキーの修学旅行、チーム



校長 平田 浩一

ワークを競ったクラスマッチ、長く苦しかったマラソン大会、できる伸びるで挑んだセンター試験や面接の練習など、どれも思い出深いことでしょう。また、日々の授業や課外そのものにも皆さんは全力で取り組み、よく頑張ってきました。胸を張ってほしいと思います。

天高は卒業後も皆さんを応援しています。これからも学校を訪ねてきてください。困ったことがあったら相談してください。また、天高をこれからも応援してください。そして、皆さん自身が一生応援してくれる人、一生応援したくなる人と出会ってください。最後に、天高卒業生として、これからも胸を希望に燃やし、飛翔を習い続けたいと思います。

## 羽ばたく雛鵬ならへ

題字：2年1組 濱田 羽菜

第71回卒業の241名の皆さん、卒業おめでとう。そして、本日卒業を迎えられた卒業生の保護者の皆さん、御卒業おめでとうございます。

さて、皆さんにとって、天草高校での3年間はいかがでしたか。皆さんが入学した2016年の4月、熊本県を大きな地震が襲いました。熊本県内各地で交通網が遮断、たくさんの建物が崩壊し、当たり前の生活がそうでなくなりました。そのような状況の中で、人々は手を取り合い、助け合うことでお互いの存在の



3学年主任 金子 誠一郎

大きさと、当たり前のことのありがたさを感じました。

この3年間で、皆さんには自律をし、皆と協働し、多くの課題に向けて主体的に活動することを常に問いかけてきました。決して楽な高校生活ではなかったかもしれませんが、しかし皆さんは「正大・剛健・寛厚」の精神を育み、「求学志成」を実践しながら、日々の高校生活を送ってきました。そのような皆さんの頑張る姿に、私たちが元気をもらいながら、これまで過ごすことができました。

現在、熊本県全体では復興に向けた新しい都市づくりが進み、2020年の東京オリンピックの開催に向けた準備も着々と行われ、日本全体がエネルギーを帯びています。今年5月には元号も新しく変わり、さらに変化に富んだ社会が皆さんを待っています。皆さんが天草での生活で、豊かな自然に囲まれ、学んできた多くの経験を生かし、自分を含めた多くの人の幸せのために活躍することを、私たち天草高校職員一同、今後の皆さんの活躍を期待しています。